

2025年3月25日  
発行/日本共産党市議団地域版  
自宅/市川市須和田2-12-3  
fax 047-303-3025  
携帯 090-6310-3294  
メールアドレス  
shimizu@jcp-ichikawa.com  
ブログ・清水みな子を検索



日本共産党市川市議会議員

清水みな子  
あおぞらメール

No.167

# 2月議会 一般質問 市民の要望に応え質問 不登校対策、平和行政、ごみ問題



2月議会は、2月13日～3月13日まで開催されました。私は、3月11日、不登校対策、平和行政、ごみ集積所問題を取り上げ、一般質問を行いました。

## ▽不登校対策

不登校児童生徒は、令和5年度、全国で34万6千人、毎年約5万人増えている。教員の多忙化、教員不足も大いに関係があると思う。学校のあり方も変わらなれないといけないのではないかと、問題提起をしました。

問 小学校モデル6校での校内教育支援センターの運用状況について。

答 15日間の開室で、延べ554名が利用した。1校あたり1日6名程度、各校2、3名の支援員を配置。支援員が見守る中、安心して過ごしていた。要望 令和7年度より、

すべての小学校に校内教育支援センターを設置し、会計年度任用職員（みらいサポーター）を配置する予定だが、教員免許を必須としていない。それでよいのか。みらいサポーターに丸投げにならないか、見極めてほしい。

問 不登校児童生徒の卒業後をどのように考えているのか。

答 児童生徒や保護者の思いや願いを踏まえ、面談などを通して、ともに卒業後の進路を考え、将来の社会的自立につなげていきたい。

要望 新婦人中央本部が「緊急不登校アンケート」を実施し、一番の悩みは「学びが保障されていない」「将来の見通しが持てない」「経済面の負担が大きい」でした。学校に行けない子どもはどこで学べるのか。その保障が必要です。

問 他市にこの4月から、不登校児童生徒を対象に分校が開校する。本市に

はその考えはあるのか。習志野市は小学生が対象、浦安市は中学生が対象。答 校内教育支援センターの充実を図る。

問 学びの保障として他に行っていることは何か。答 学校が配信する授業を教室以外の場所で行っている。市が導入している「ドリル」などを行っている。また、小集団での学習を希望する場合は、「サポートルームふれんど市川」を活用することもできる。

要望 授業の配信を1人で見るのは難しいのではないか。不登校の原因は人それぞれ、その児童生徒にあった方法をいくつかに用意することがよいのではないか。他市の取り組みも参考に検討を。

## ▽平和行政

問 被爆80年の今年夏に、10年ぶりに広島に中学生を派遣することになったが、その理由、行動計画報告集の作成について。

答 終戦60年から5年ごとに派遣してきた。令和2年はコロナで派遣でき

ず、10年ぶりとなる。8月5日から7日まで、広島平和記念資料館見学や平和祈念式典へ参列。「ヒロシマ青少年平和の集い」に参加し、全国から参加する青少年との交



流。報告集も作成し、派遣報告会も行う予定。

問 他市では、毎年派遣している。毎年、派遣を行う考えについて。

答 被爆地で平和学習に参加し、その学習成果を在籍する中学生や市民の皆様に表示するなど、平和の大切さを広く伝えていくうえで、大変意義深いものだと考え、5年に1度実施してきた。派遣にかかる経費が290万円と高額であり、派遣効果を見て研究する。

要望 高額ではないと思う。平和の大切さをどの学年も体験してほしい。

## ▽ごみ集積所

この間、地域から、ごみ集積所に関する問合せがありますので、質問します。

問 ごみ集積所の設置場所の決定や管理は、どのように決めているのか。また、何世帯で1箇所を想定しているのか。

答 設置場所や管理は、利用者の方で決めている。集合住宅はオーナーや管理会社にお問い合わせしている。要綱により、原則5世帯以上で1箇所を設定している。

問 狭あい道路に設置する場合の要件は。

答 ごみ集積所の設置については、可否は必ず職員が現地を確認したうえで判断している。狭あい道路など収集車の通行に支障がないところである。問 住宅の増加により、ごみ集積所からごみが溢れる事態となっている場合の解消方法は。

答 小規模の新築住宅の場合は、ごみ集積所の設置は求めている。近くにある既存の集積所が利

用できるように、現在の利用者から承諾を得てもらうようにしている。問題が発生した場合は、職員が直接伺い、解決に向けてサポートしていく。問 集積所を変更したい場合は、手続きが必要か。



要望 まだまだ、地域では課題を抱えているので、職員が丁寧な対応をしていただきたい。電話口に出た職員によって、言い方がまちまちだったり、市民の不信をまねかないようにしてほしい。「ごみを収集している皆さんにお礼を言ってくれたい」と、地域の方に頼まれましました。いつも綺麗に掃除をしていきます。

## さよなら原発アクション ＜5駅で宣伝行動＞

東日本大震災から14年が経ちますが、いまだに避難されている方が2万人以上います。原発事故周辺は帰りたくても帰れない状態だといえます。スーパーや病院などが揃っていないのです。3月9日、市川駅、本八幡駅、下総中山駅、市川大野駅、行徳駅の5駅に集まり、それぞれの駅でチラシ配布、スピーチ、黙とう、募金など集めました。

私は市川駅に参加しました。参加者も70人を超え、募金も3万円を超えました。最初に、須和田のスコップ三味線クラブのメンバーが勢いよく、スコップを奏で「東京ブギウギ」をみんなで口ずさみました。そのあとスピーチがあり、私も一言。最後は、合唱団プリマベラの皆さんと一緒に歌いました。



須和田スコップ三味線クラブの皆さんと清水（中央）

◎4月8日（火）  
担当 井出達希弁護士  
◎5月13日（火）  
担当 広木大輝弁護士  
午後2時から5時まで  
相談時間はひとり30分。  
予約は清水又は控室まで

## 無料法律相談

### 《主な活動報告 1、2月》

☆1月7日 市川市消防出初式  
国府台体育館で、消防出初式が行われました。日頃の消防の皆さんに感謝しました。恒例の木遣りの披露があり、訓練の様子も再現されました。



☆1月15日 市川市主催「平和講演会」

昨年、ノーベル平和賞を受賞した日本被団協の田中熙巳代表委員をお招きし、平和講演会を開催。文化会館小ホールは満席でした。授賞式が行われたオスロでの感動そのままに、平和について、話されました。

核兵器禁止条約に参加もしない、批准もしない、日本政府に対して怒り、地方から声を上げてほしいと訴えられました。がんばります！



☆1月26日 千葉土建組合の旗開き

千葉土建市川支部の新春旗開きが開かれ、出席しました。各政党の県議、市議がそれぞれ挨拶し、千葉土建組合が闘っているアバスト裁判の原告団長が挨拶、支援を呼びかけました。



☆2月2日 西部後援会の総会と新春のつどい

午前中は、西部地域後援会の総会が開かれ、今後の方針や役員を拍手で確認しました。お昼を食べながら、新春のつどいでは、浅野県議と清水の挨拶。自己紹介のあとは、ヴァイオリンを奏でる方の指揮で昭和歌謡をみんなで楽しく歌い、英気を養いました。

